

第3学年4組 算数科学習指導案

1 単元名 時こくと時間 (本時1 / 4)

2 本時の学習指導

(1) 本時の目標

ちょうどの時刻の区切りに着目し、時刻と時間の求め方を考えることができる。

(思考力・判断力・表現力等)

(2) 児童を「納得」へと導く、具体的な手だて「納得ポイント」

- ・スクールタクトを活用し、図や穴埋め形式など様々なパターンの学習カードを用意することで、児童が自分に合った求め方を選択できるようにする。

3 本時の指導計画

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (5)	1 配付された資料から気づいたことを発表して問題を把握する。 ・学校を出る時刻は8時45分です。 ・いちごハウスまで25分かかります。	・いちごハウスの写真を提示し、社会見学に行くための計画を立てることを伝える。 ・「いちごハウスに着く時刻は、何時何分だろう」と問う。 ・時刻の時間の違いを確かめる。
課題 (2)	2 本時の学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;">いちごハウスに着く時刻やいる時間のもとめ方を考えよう。</div>	・本時の学習課題を示す。
展開 (33)	3 いちごハウスに着く時刻を考える。 ・自力解決する 時計を25分進めたら、9時10分になった。 ・よつばで考えたことを共有する 15分でちょうど9時になるから、あと10分だから9時10分になる。 4 いちごハウスにいる時間を考える。 ・自力解決する 10時までには10分。あと25分間なので35分になる。 ・よつばで考えたことを共有する ちょうどまでの時間と、ちょうどあとの時間を足すと35分になる。 5 適応題に取り組む。	【主発問】いちごハウスに着く時刻やいる時間のもとめ方を考えよう。 ・時計を操作したり、数直線を読んだりして考えるよう助言する。 ・ちょうどの時間を区切りにして考えている児童やよつばの姿を称賛しつつ、時刻の求め方を確認する。 【追発問】いちごハウスに9時50分に着き、10時25分に出ます。いちごハウスにいる時間はどれだけですか。 ・3と同様に、時計を操作したり、数直線を読んだりして、考えるように助言する。 ・ <u>ちょうどの時刻に注目して考え、自分に合った求め方を選択するよう助言する。</u>
整理 (5)	6 本時のまとめ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">・時刻や時間を考えるときは、ちょうどの時刻を区別りにして考えるとわかりやすい。</div>	・適応題に取り組むよう指示する ・本時のまとめを行う。 ・本時を振り返り分かったこと、疑問に思ったことをノートにまとめるよう指示する。

4 評価

- ・ちょうどの時刻をまたぐ何分か後の時刻や時間の求め方を考えたり、自分に合った求め方を選択したりすることができたか。(活動3、4、5の様子から)